

第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

第 2 回競技運営専門委員会

会議資料



日時：平成 28 年 2 月 29 日（月）14:00～15:30
会場：滋賀県大津合同庁舎 7 - A 会議室

競技運営専門委員会 委員

(順不同:敬称略)

選出区分	機関・団体名および役職名	氏名
スポーツ 関係	公益財団法人滋賀県体育協会 競技力向上担当 次長	今井 義尚
	滋賀県障害者スポーツ協会 主査	伊勢坊 美喜
	一般財団法人滋賀陸上競技協会 理事	八木 佐知男
	滋賀県水泳連盟 理事長	澤 弘宣
	公益社団法人滋賀県サッカー協会 専務理事	前田 康一
	滋賀県テニス協会 ジュニア委員長 兼国体強化委員	菅原 万智子
	滋賀県バレーボール協会 理事長	浮田 豊史
	滋賀県バスケットボール協会 A級公認審判	加藤 加織
	滋賀県柔道連盟 理事	坂下 和子
	滋賀県弓道連盟 副会長	中村 傳一郎
学校関係	滋賀県中学校体育連盟 理事長	涌井 努
	滋賀県高等学校体育連盟 理事長	小田 隆司
学識経験者	立命館大学スポーツ健康科学部 教授	岡本 直輝

第79回国民体育大会審判員・要資格運営員養成について（案）

1 趣旨

第79回国民体育大会の各競技会の円滑な運営と本県および地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員および要資格運営員の資格取得、資格維持および資質向上を図るため、県内各競技団体において「第79回国民体育大会審判員・要資格運営員養成計画」を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

第79回国民体育大会に向けた審判員・要資格運営員の養成については、下記の基準等に基づき推進する。

- ・「国民体育大会各競技開催にあたる競技役員編成基準」＜(公財)日本体育協会＞
- ・「第79回国民体育大会競技役員等編成基本方針」＜第3回常任委員会決定＞
- ・「第79回国民体育大会競技役員等養成基本方針」＜第3回常任委員会決定＞
- ・「第79回国民体育大会競技役員等養成基本計画」＜第3回常任委員会決定＞

3 養成計画

県内の有資格者の現状を踏まえ、各競技団体が養成計画を作成する。

- ・審判員・要資格運営員の養成目標数＜別表1＞
- ・審判員・要資格運営員養成年次計画総括表（資格取得）＜別表2＞
- ・審判員・要資格運営員養成年次計画総括表（資格維持・資質向上）＜別表3＞

4 養成方法

競技団体毎に中央講習会等への派遣および県内講習会の開催等により養成する。

5 その他

各競技団体における養成事業の進捗状況を踏まえ、適宜見直しを行うとともに、開催準備委員会競技運営専門委員会に報告することとする。

第79回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成目標数 総括表

No.	内訳 競技名	競技 役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内 必要数 ⑦=③-⑥	開催時 従事 見込数 ⑧	不足数 ⑨=⑦-⑧	養成 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③= ①+②	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥= ④+⑤				
1	陸上競技	483	483	0	483	31	35	66	417	183	234	306
2	水泳	480	167	203	370	65	11	76	294	135	159	211
3	サッカー	527	96	48	144	66	40	106	38	18	20	28
4	テニス	174	74	0	74	0	0	0	74	6	68	89
5	ボート	201	56	14	70	32	22	54	16	5	11	15
6	ホッケー	80	20	14	34	26	0	26	8	5	3	5
7	ボクシング	94	35	8	43	33	8	41	2	0	2	3
8	バレーボール	282	37	32	69	6	12	18	51	29	22	29
9	体操	323	102	10	112	28	49	77	35	20	15	23
10	バスケットボール	313	85	30	115	35	16	51	64	46	18	25
11	レスリング	146	43	0	43	36	5	41	2	0	2	3
12	セーリング	220	22	13	35	21	0	21	14	8	6	10
13	ウエイトリフティング	109	34	4	38	6	23	29	9	3	6	8
14	ハンドボール	236	38	48	86	82	0	82	4	2	2	4
15	自転車	186	141	0	141	6	85	91	50	1	49	64
16	ソフトテニス	202	100	0	100	2	20	22	78	64	14	19
17	卓球	191	87	1	88	4	40	44	44	32	12	16
18	軟式野球	239	82	0	82	6	5	11	71	23	48	64
19	相撲	175	60	5	65	14	25	39	26	1	25	33
20	馬術	137	11	56	67	38	15	53	14	2	12	18
21	フェンシング	102	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
22	柔道	198	39	49	88	40	0	40	48	33	15	20
23	ソフトボール	307	78	46	124	10	30	40	84	32	52	68
24	バドミントン	298	177	1	178	2	14	16	162	128	34	45
25	弓道	159	28	39	67	1	15	16	51	35	16	25
26	ライフル射撃	153	73	67	140	33	75	108	32	11	21	29
27	剣道	112	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	156	51	0	51	2	31	33	18	12	6	9
29	山岳	95	22	69	91	20	0	20	71	3	68	89
30	カヌー	251	159	21	180	37	51	88	92	17	75	98
31	アーチェリー	90	31	6	37	5	10	15	22	7	15	21
32	空手道	176	47	0	47	43	0	43	4	1	3	6
33	なぎなた	101	21	22	43	26	14	40	3	0	3	4
34	ボウリング	82	20	1	21	2	0	2	19	7	12	17
35	ゴルフ	158	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	トライアスロン	113	68	0	68	4	31	35	33	24	9	12
37	銃剣道	93	21	0	21	17	0	17	4	0	4	6
38	クレール射撃	124	23	0	23	8	6	14	9	0	9	12
39	高校野球	139	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		7,705	2,683	807	3,490	839	688	1,527	1,963	893	1,070	1,434

第79回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
 総括表【資格取得】

No.	内訳 競技名	養成 目標数										延養成数
			H28 (8年前)	H29 (7年前)	H30 (6年前)	H31 (5年前)	H32 (4年前)	H33 (3年前)	H34 (2年前)	H35 (1年前)	H36 (開催年)	
1	陸上競技	306	87	87	87	87	87	97	103	10	0	645
2	水泳	211	2	4	44	14	15	74	79	28	4	264
3	サッカー	28	2	4	5	3	6	5	3	2	0	30
4	テニス	89	5	11	24	20	22	11	2	0	0	95
5	ボート	15	2	4	4	4	4	5	5	5	0	33
6	ホッケー	5	0	1	3	1	0	0	0	0	0	5
7	ボクシング	3	0	1	0	0	2	0	0	0	0	3
8	バレーボール	29	5	6	6	6	6	6	7	0	0	42
9	体操	23	7	10	14	12	10	4	6	4	0	67
10	バスケットボール	25	5	6	7	5	6	1	1	1	0	32
11	レスリング	3	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
12	セーリング	10	0	1	1	1	3	3	1	0	0	10
13	ウエイトリフティング	8	2	3	2	2	0	2	3	1	0	15
14	ハンドボール	4	0	2	2	4	0	0	0	0	0	8
15	自転車	64	8	12	12	14	14	15	14	14	0	103
16	ソフトテニス	19	2	2	2	2	2	3	3	3	0	19
17	卓球	16	0	2	2	2	2	2	2	2	2	16
18	軟式野球	64	0	0	10	25	25	22	10	0	0	92
19	相撲	33	0	4	5	1	13	0	10	0	4	37
20	馬術	18	0	3	3	4	5	3	3	0	0	21
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	20	7	7	7	6	0	0	0	0	0	27
23	ソフトボール	68	2	2	3	33	3	25	0	0	0	68
24	バドミントン	45	2	3	4	6	10	11	11	4	0	51
25	弓道	25	0	8	8	8	7	6	4	3	0	44
26	ライフル射撃	29	4	5	5	5	5	5	6	0	0	35
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	9	2	2	3	2	2	3	2	2	2	20
29	山岳	89	0	4	4	72	3	4	4	1	0	92
30	カヌー	98	0	4	4	4	4	14	24	39	5	98
31	アーチェリー	21	0	9	0	6	0	3	11	0	0	29
32	空手道	6	0	0	1	1	0	1	3	2	2	10
33	なぎなた	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4
34	ボウリング	17	2	4	4	4	3	2	2	3	0	24
35	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	トライアスロン	12	6	4	3	3	8	3	0	1	0	28
37	銃剣道	6	2	2	2	0	0	0	0	0	0	6
38	クレール射撃	12	0	6	3	9	3	3	0	0	0	24
39	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1,434	154	225	285	369	271	333	319	125	19	2,100

第79回国民体育大会 審判員・要資格運営員養成年次計画
 総括表 【資格維持・資質向上】

No.	内訳 競技名										計
		H28 (8年前)	H29 (7年前)	H30 (6年前)	H31 (5年前)	H32 (4年前)	H33 (3年前)	H34 (2年前)	H35 (1年前)	H36 (開催年)	
1	陸上競技	136	176	216	256	296	336	386	479	489	2,770
2	水泳	136	137	126	162	167	178	246	324	349	1,825
3	サッカー	18	19	23	28	30	36	41	44	46	285
4	テニス	6	10	19	43	63	84	93	95	95	508
5	ボート	7	7	9	11	13	14	16	18	23	118
6	ホッケー	6	6	7	10	10	10	10	10	10	79
7	ボクシング	0	0	1	1	1	3	3	3	3	15
8	バレーボール	29	32	36	40	44	48	52	59	59	399
9	体操	33	38	40	47	51	56	55	58	62	440
10	バスケットボール	46	50	55	61	65	71	70	70	71	559
11	レスリング	0	0	0	1	2	3	3	3	3	15
12	セーリング	13	13	14	15	15	17	20	20	20	147
13	ウエイトリフティング	3	4	5	7	9	7	9	11	12	67
14	ハンドボール	12	12	12	12	16	16	16	16	16	128
15	自転車	1	5	13	19	27	34	43	51	65	258
16	ソフトテニス	100	102	102	102	102	102	102	102	105	919
17	卓球	104	102	102	102	102	102	102	102	102	920
18	軟式野球	23	23	23	23	38	55	77	87	87	436
19	相撲	1	1	5	9	7	20	20	30	30	123
20	馬術	2	2	5	7	9	14	17	20	20	96
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	33	38	43	49	55	55	55	55	55	438
23	ソフトボール	32	34	36	39	72	75	100	100	100	588
24	バドミントン	5	7	9	12	16	25	35	46	50	205
25	弓道	39	33	35	37	40	43	45	48	51	371
26	ライフル射撃	11	14	18	22	26	30	33	33	33	220
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	13	14	14	16	17	17	19	20	21	151
29	山岳	3	3	7	11	83	85	88	91	92	463
30	カヌー	26	29	32	35	38	41	54	77	116	448
31	アーチェリー	7	4	13	13	19	16	19	30	30	151
32	空手道	4	4	4	5	6	6	5	6	8	48
33	なぎなた	0	0	2	2	4	4	4	4	4	24
34	ボウリング	7	7	9	11	14	17	19	21	24	129
35	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	トライアスロン	24	28	31	34	31	38	41	40	41	308
37	銃剣道	0	2	4	6	6	6	6	6	6	42
38	クレー射撃	0	0	6	3	9	9	12	12	12	63
39	高校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		880	956	1,076	1,251	1,503	1,673	1,916	2,191	2,310	13,756

国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準

1 基本方針

- (1) 国民体育大会の目的のひとつである地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するため、審判員等競技役員は開催都道府県（以下「開催県」という。）内の有資格者をあてることを原則とし、大会終了後もこれらの者が地域スポーツ行事等に十分活用できるよう配慮しなければならない。
- (2) 実施中央競技団体は、中央競技団体からの派遣が必要となる者を除き、開催県内の競技役員をもってすべての競技運営ができるよう、開催県内定後、開催県関係者と密接な関係のもと積極的に競技役員の養成に努めなければならない。

2 競技役員の構成

開催県は、中央競技団体からの派遣が必要となる者を除き、県内競技役員をもってすべての競技運営ができるよう努めなければならない。

県内競技役員で競技会の運営が不可能な場合は、開催県外から競技役員を派遣することができる。この場合、競技日程、競技会場数及び試合数等を十分考慮の上必要最小限の人員としなければならない。

- (1) 中央競技役員
競技会を円滑に運営するための責任者等として中央競技団体からの派遣が必要とされる者。
- (2) 県内競技役員
開催県内の人員で、競技会の運営にあたる者。
- (3) 近県競技役員
上記(1)、(2)以外の人員で、原則として開催県ブロック内から派遣する者。

3 中央競技役員派遣にあたる所要経費支給基準

中央競技役員派遣にあたる所要経費は、原則として全額開催県負担とする。

この場合、1人当たり概ね次の通りとし、各大会における支給基準は大会開催年（冬季大会は開催前年）に日本体育協会と開催県が協議し、決定する。

- (1) 交通費
原則として、自宅最寄り駅から競技会場地最寄り駅間の往復運賃とし、経済的かつ合理的な通常の経路及び方法により算定し支給する。
算定にあたっては、開催県自治体の旅費に係る規定等によるものとする。
- (2) 宿泊料金
各大会時に定められる宿泊料金のうち選手・監督以外の参加者と同一料金を支給する。
期間は、原則として当該競技日数に2日を加えた日数を限度とする。
- (3) 諸費
競技役員業務に従事する期間に要する諸経費を補填するものとして、日本体育協会と開催県が協議して決定した金額を支給する。
期間は、宿泊料金支給期間に1日を加えたものとする。

4 競技役員の役職名及び人数

国体開催基準要項細則に示された施設基準及び参加人員で競技会を開催する場合の役職名と必要最小限の人数は、別紙を基準とする。

<附則>

昭和 53 年 11 月 7 日	制定
昭和 59 年	第 1 次改訂
平成 24 年 6 月 1 日	第 2 次改訂
平成 27 年 6 月 11 日	第 3 次改訂

国民体育大会各競技会における競技役員の役職名及び人数

本表は、「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」第4項について、国民体育大会の競技運営にあたり必要となる競技役員の役職名及び人数を定める。

各大会における競技役員の編成にあたっては、競技会場数や開催地における競技役員の養成状況等を踏まえるとともに、同編成基準の趣旨に則し必要最小限となるよう適宜編成を行うこととする。

(1) 陸上競技

役員名	総数	左の内訳	中央からの派遣数	備考
総務	1			
総務員	8		1	
JTO	3	トラック、跳躍、投てき	3	
技術総務員	2			
上訴審判員	5		3	
審判長	4	トラック、跳躍、投てき、招集所		
競技進行係	4		1	
番組編成員	3	主任1		
アナウンサー	8	〃 1	1	
大型映像係	4	〃 1		
報道係	11	〃 1	1	
ミックスゾーン係	9	〃 1		
記録・情報処理員	16	〃 1		
印刷係	3	〃 1		
場内指令	20	〃 1		
会場管理	5	〃 1		
NFR	1		1	
DCO	5			JADA派遣
シャペロン	6	主任1		
競技者係	23	〃 1		
役員係	5	〃 1		
補助員係	2	〃 1		
来賓・視察員受付	4	〃 1		
庶務係	18	〃 1	2	
庶務員	7	〃 1		
医務係	2	〃 1		
救護係	5			
式典表彰筆耕係	11	主任1	2	
入賞者管理係	5	〃 1		
公式計測員	1	〃 1		
用器具係	13	〃 1		
風力計測員	9	〃 1		
練習会場係	20	〃 1		
写真判定員	11	〃 1		
監察員	34	〃 1		
監視カメラ係	2	〃 1		
競歩審判員	10	〃 1	5	
スターター	13	〃 1		
出発係	25	〃 1		
衣類運搬係	9	〃 1		
周回記録員	18	〃 1		
跳躍審判員	40	〃 1		
投てき審判員	33	〃 1		
光波計測員	3	〃 1		
総合得点係	2	〃 1		
トレーナー	5		5	
合計	448		25	

第79回国民体育大会競技役員等養成支援事業（案）

必要性

- 国体には上級の審判員資格が必要
- 国体開催に必要な県内有資格者が不足
- 上級の資格取得には一定の期間が必要
- 資格の取得・維持には多額の費用が必要
(現状は各競技団体・個人で負担)
- 有資格者は国体後のスポーツ振興に寄与

方針

国体競技会運営に携わる競技役員等の養成確保に必要な経費に対し補助金を交付する。

(平成28年度当初予算計上額 7,182千円)

支援内容（案）

◆中央講習会等派遣事業

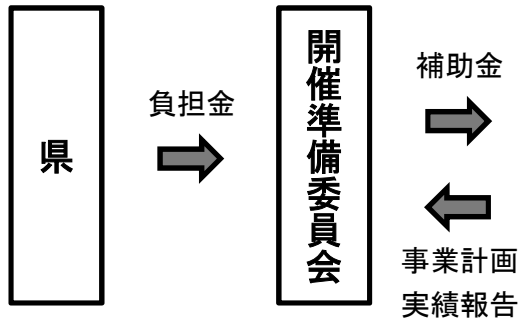
- 中央（ブロック）講習会による資格取得・更新
- 全国（ブロック）大会等への参加によるスキルアップ

対象経費…受講者旅費・宿泊費など（県の旅費規程に準じ実費を補助。）

◆県内講習会等開催事業

- 県内講習会による資格取得・更新

対象経費…講師謝金、講師旅費、印刷製本費、会場使用料など
(一定額を限度に実費を補助。県外講師の宿泊費は補助対象。)



スケジュール（案）

